

『関市国民健康保険 特定健康診査等実施計画(第2期計画)』を策定しました!

◆照会先 国保年金課 ☎23-7701

国民健康保険に加入の40～74歳の方に実施している、特定健康診査・特定保健指導についての平成25～29年度の第2期計画を策定しました。この計画には、特定健康診査の受診率などの目標値や実施方法、第1期計画(平成20～24年度)の実施状況や国民健康保険の医療費などの状況を掲載しています。詳しい内容は、市ホームページで公表しています。

○第1期計画期間中の特定健康診査受診率・特定保健指導終了率の状況

特定健康診査の受診率は、年々上昇していますが、目標とする65%の受診率を達成していません。平成23年度の受診率は26.1%であり、岐阜県の受診率と比較しても10%程度低くなっています。特に、男性の受診率と40～50歳代の若い年代の受診率が低くなっています。

特定保健指導の終了率は、平成23年度が24.6%であり、目標とする45%の終了率を達成していません。

《特定健康診査受診率の推移》 県の平均を下回っています!!



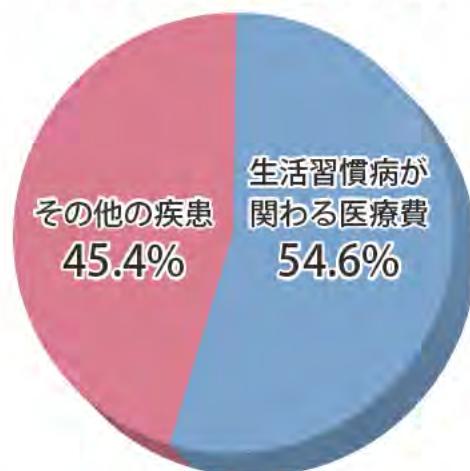
○第2期計画における特定健康診査受診率・特定保健指導終了率の目標

第2期計画最終年度の平成29年度の目標値は、特定健康診査受診率60%、特定保健指導終了率60%としました。未受診者の方には、はがきや電話などで受診の勧奨をしていきますので、積極的な受診をお願いします。

なぜ、特定健康診査・特定保健指導を受けるの？

生活習慣病を医療費から見ると、半分以上を占めています(右グラフ)。糖尿病などの生活習慣病の発症や重症化を抑えることで、生活の質の維持及び向上を図りながら医療費の伸びの抑制を実現することが可能となります。年に1回、特定健康診査で体の状態をチェックし、その結果に応じて、保健師・管理栄養士による特定保健指導を受けることで、生活習慣病の発症と重症化を予防しましょう!!

《平成23年度の医療費の状況》



参考：岐阜県国民健康保険団体連合会資料

6月から 健診が 始まります!!

平成25年度 関市特定健康診査 関市後期高齢者健康診査 関市健診

◎健診受診券

平成25年度の各健診受診券を6月に送付します。

受診券をお手元に届いたら、「受診券」と「同封のチラシ」をご覧いただき、受診してください。受診券の有効期限間際は、予約が大変混み合います。早めに受診をお願いします。

受診券種類	対象	有効期限	照会先
関市特定健康診査受診券 (水色)	40歳～74歳 国民健康保険加入者の方	平成25年6月～ 平成26年3月末日	国保年金課 ☎23-7701
関市後期高齢者健康診査受診券 (オレンジ色)	75歳以上 (後期高齢者医療保険被保険者)の方	平成25年6月～ 12月末日	高齢福祉課 ☎23-8993
関市健診(がん検診など)受診券 (白色)	20歳以上の方	平成25年6月～ 平成26年3月末日	関市保健センター ☎24-0111

※国民健康保険以外の保険に加入の方は、ご加入の健康保険にお問い合わせください。

※昭和13年4月1日～9月30日生まれの方は、お誕生日の翌々月に「関市後期高齢者健康診査受診券」を送付します。

◎6月の集団健診予約受付は、5月7日(火)午前8時30分から開始します。

<受付方法>

- ①保健センターに電話 下記照会先より、各保健センターへご予約ください。
- ②パソコンや携帯電話から

予約には、受診者番号が必要です。初めて利用される方は、健診受診券が届いてからご利用ください。

●パソコンから → 集団健診予約専用ページ <https://www.city.seki.lg.jp/kenshin/top.cfm>へアクセス

●携帯電話から →



QRコードから空メールを送信してください。

予約専用ホームページへアクセスできるメールを送ります。

本年度より、集団健診の予約は年間を通じて可能です。

<6月・7月上旬の集団健診日程>

種別	予約先	健診場所	日時	種別	予約先	健診場所	日時
特定健診 胃・大腸・肺・ 前立腺がん検診	関市保健センター		6月26日(水) 8:30～10:30	乳・子宮がん検診 骨粗しょう症検診	関市保健センター		6月20日(木) 13:00～15:00
			7月6日(土) 8:00～10:00	乳・子宮がん検診			6月29日(土) 9:00～11:00
ヤング健診	武芸川保健センター		6月30日(日) 9:00～11:00	乳・子宮がん検診 骨粗しょう症検診	武儀保健 センター	道の駅平成	7月4日(木) 9:00～11:00
			7月11日(木) 9:30～11:00				上之保保健 センター
乳・子宮がん検診 骨粗しょう症検診	洞戸保健 センター	洞戸保健 センター	7月11日(木) 13:30～15:00	武儀保健 センター			7月4日(木) 13:30～15:30
		板取保健 センター					

7月中旬以降の健診日程は、受診券と同封のチラシをご覧いただき、ご予約ください。

<照会先> 関市保健センター ☎24-0111 洞戸・板取保健センター ☎0581-58-2204
武芸川保健センター ☎46-2899 武儀・上之保保健センター ☎40-0020

市議会だより

市議会第1回定例会

施政方針

質問 具体的な経済・雇用対策は何か

答弁

産業の分野においては、企業立地促進条例を改正し、工場等設置奨励金の交付を5年に拡大したり、対象業種を

広げて優遇制度を活用した新規企業の誘致を進めます。また、インターネットを活用した地域特産品の販路開拓や見本市出展補助金の増額などの支援も行います。

商業の分野ではせき商連や商工会議所など連携してイベントや空き店舗対策を推進します。観光の分野では「刃物のまち」や「うな丼」の知名度アップを図るために効果的なプロモーションを行い、ブランド化やグルメタウン化につなげたいと考えています。

域において住民が困っていることを解決する事業、都市部との交流を通じて外部の活力を導入すること、地域住民が自ら取り組むことで過疎地域の活性化を図ることの3つの視点を持つて振興策を講じます。今後も、地域住民の皆さんのが住み慣れた地域に住み続けることができるよう、長期的な展望をもつて施策を多面的に継続していきます。

制度があり、飼料価格の上昇分が補てんされる制度もあります。市としても状況に応じて支援を検討していきます。

過疎地域の振興

質問 過疎地域に対する振興は

答弁

平成22年度から27年度を計画期

平成25年市議会第1回定例会を、2月21日から3月22日までの30日間開催しました。

この定例会では、国の緊急経済対策による補正予算5件のほか、総額607億460万円の平成25年度予算13件、条例関係25件、一般議案12件、諮詢1件、議員提案1件、合わせて57件を審議しました。審議日程は次のとおりでした。

▼2月21日の本会議1日目は、会期を30日間と決めた後、議案の説明が行われ、

関市議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正など2件と、諮詢1件が可決されました。また新年度予算特別委員会が設置されました。

▼3月4日の本会議2日目は、部設置条例の一部改正についてなど7件を可決しました。また、条例の制定や一部改正、公の施設の指定管理者の指定、補正予算など33件をそれぞれ所管の各常任委員会に、平成25年度一般会計予算など13件付託しました。

その後、代表質問と一般質問を行い、新年度予算は、新年度予算特別委員会に付託しました。

代表質問

農業に対する影響

質問 円安による農業への影響は

答弁

市内農業における円安の影響は、各委員長の報告のとおり可決されました。また、議員提案1件を審議し、関市議会委員会条例の一部改正が可決されました。そして、今定例会に付議された案件はすべて議了し閉会しました。

新年度予算は、新年度予算特別委員会に付託しました。

学校給食センター

質問 民間委託と今後の予定は

答弁

現在、民間委託を検討している業務は、調理と洗浄業務のみです。配達業務は、平成16年度から民間業者に委託しています。今回の民間委託の検討の中では、献立作成や食材の購入、調理指示、調理物の検査など、学校給食の根幹にかかわる業務については、これまでどおり市が責任をもって行います。委託開始の時期は、できるだけスムーズな移行のため、年度始めではなく平成26年9月を目途に考えています。

市職員の民間派遣

質問 民間派遣の現状と課題は

答弁 民間企業の顧客本位のサービスやコスト意識などを学ぶため、昨年6月から㈱サン・ストラッセと関信用金庫への派遣を実施しました。研修に参加した職員からは報告書を提出してもらつとともに、参加者同士の意見交換会も行っています。派遣先の企業においては、大きな負担をお願いしていますが、今後は派遣期間や業務内容の見直しも行い、また派遣先についても市内外を問わず職員の希望する企業を対象とするなど改善を図つていきます。

墓地公園の整備

質問 第3工区の整備工事は

答弁 第3工区の整備は、政策総点検の結果、造成工事を見送るという判断がされ、今日に至つている状況です。しかしながら、現在も今すぐ納骨を必要としている方が22人、将来的に必要としている方が57人もいることを考慮すると、やはり第3工区は必要であると考えます。そのため平成20年に開催された基本計画を修正し、施工に向けた設計業務を平成25年度当初予算に計上して整備を進めていきます。また、墓地公園内に無縁仏となつた棹石だけを集めた区画や、そのお骨を納骨できる合葬供養塔の整備も今後検討していきます。

高齢者の支援

質問 緊急通報システム事業の改善は

答弁 緊急通報システム事業は65歳以上の世帯などを対象に緊急通報の機器を設置するもので、これまでに420世帯に設置されており、実績としては月に1～2件の救急車の出動があります。利用拡大のためには、機器の設置や電池の取り替え費用の増加などが考えられます。が、他市では対象者を高齢者の独り暮らし世帯や高齢者のみの世帯としているところもあり、予算面も含めて検討したいと考えています。

防災バスあんしん号

質問 活用頻度と維持費用は

答弁 防災バスは平成21年度から運用を開始しており、この約4年間で火災を含めた災害対応に関するもの19件、夜警34件、防災訓練15件、防災講座43件、行政視察10件、その他行事64件などに活用しています。平成23年度までの維持費用は、修繕に288万円、点検整備に166万円、燃料費に93万円で合計約547万円となっています。4年間で活用した件数に対するランニングコストから見ても多くの費用を要しています。また、車両サイズが大きいため、狭い道路が多い市の実情に即していない面もありますので、今後有用性や必要性などを検討していきます。

学校での体罰

質問 現状と対応は

答弁 すべての小中学校で、児童生徒、保護者、教師を対象に調査を実施した結果、小学校で3件、中学校で2件の体罰が報告されました。この5件の体罰はすべて教師からの自己申告によるもので、保護者からの申告によるものはありませんでした。その対応として、相談体制の充実を図るためにスクールカウンセラーや、中学校と小学校に配置し、さらに中学校4校にスクール相談員を配置しています。また、心の相談員を全中学校と小学校7校に配置して、子どもたちの相談にあたっています。

自治会支部の再編

質問 自治会支部の再編は必要か

答弁 現在、自治会の支部と小学校区が不整合である地域がいくつかあります。このためふれあいセンターや消防団、社会福祉協議会、老人クラブなどの範囲と、民生委員・児童委員、子ども会などの範囲が一致せず、地域活動において戸惑いがあるなどの課題があります。こうした不整合を解消したいという地域の声が上がり、地域と行政が一緒になつて支部と学校区の不整合の解決に取りかかることになりました。わかりやすい区域、まとまりやすい地域割となるよう地域の皆さんにご理解をいただきながら進めていきます。

温泉施設の経営

質問 温泉施設の今後に対する考えは

答弁 市内の3つの温泉施設は入場者の減少や原油価格の高騰などによりいずれも経営は大変厳しいものになっていました。また今後は施設の老朽化による修繕なども予想されます。しかし、どの温泉施設も地域振興の拠点的施設として整備されたもので地域の思い入れも強い大切な施設です。現段階において即効性のある策はなかなか見出すことはできませんが、今後もコスト削減や利用者拡大に向け、指定管理者とともに効果ある対策を検討していきたいと思います。

学校教育夢プラン

質問 中学生海外研修の自己負担額見直しを

答弁 中学生海外研修は、リーダー養成の一環として、外国でさまざまな経験をすることで視野を広げ、日本のため、関市のため、人のために生きていく「貢献」という精神を持つ人材を育成し、確かな夢に向かつて意欲的に生きていこうとするきっかけとなることを目的としています。参加にあたっては、現在、自己負担額を10万円程度としていますが、参加希望のある生徒が、家庭の経済状況によって応募を断念することがないよう、今後、自己負担額や支払い方法について見直ししていきます。

選挙パスポート

質問 市民への配布と活用方法は

答弁 今回は新成人を対象として作成しましたが、夏の参議院議員選挙に合わせ、市民の皆さんへ広く配布できるよう、一般的の有権者向けの選挙パスポートを作成したいと考えています。また、選挙パスポートは投票率の向上を期待する選挙啓発の手段と捉えており、利用者に限った特典を設けることは現時点では予定していませんが、市内の団体から参議院議員選挙の際には選挙パスポートを活用する取り組みを企画したいという話も聞いていますので、こうした取り組みに期待したいと考えています。

河川の水質

質問 浄化センターの放流水質は

答弁 関市浄化センターは1日あたり4万トンの処理能力を保有し、平均3万トンの汚水を浄化しています。この処理方式は最先端の技術である高度処理方式と担体投入活性汚泥法を採用し、以前の処理方式では困難であった窒素やリンの除去を可能にするなど浄化技術をさらに高めており、国や県の定める水質基準以上の水質で放流しています。

地域介護予防活動支援

質問 認知症サポーターの活動支援は

答弁 現在、出前講座として認知症サ

症の正しい知識の普及に努めるとともに、地域における見守り体制を万全にしていくため、啓発活動と見守りネットワークづくりを重点に取り組んでいます。しながら、研修を受けたサポーターが地域で活躍できる場や、フォローアップのための定期的な研修などは現在実施していないませんので、今後、活動支援の取り組みをしていきたいと考えています。

審議の結果

◎2月21日可決分

▼関市議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正について▼関市特別職報酬等審議会条例の一部改正について▼人権擁護委員の推薦について▼新年度予算特別委員会の設置

◎3月4日可決分

▼条例の一部改正《関市部設置条例、関市高額療養資金等貸付基金条例、関市立保育所の設置及び管理に関する条例、関市地区公民センター設置及び管理条例に関する条例、関市企業立地促進条例、関市農業集落排水処理施設の設置及び管理条例に関する条例、関市簡易水道事業給水条例、関市下水道条例》▼公の施設の指定管理者の指定について《道の駅ラステンほらど、道の駅むげ川、道の駅平成、富野ふれあいセンター、武儀生涯学習センター、上之保生涯学習センタ

の除去を可能にするなど浄化技術をさら以上との水質で放流しています。

▼条例の制定《関市職員の修学部分休業に関する条例、関市職員の自己啓発等休業に関する条例、関市指定地域密着型サ

◎3月22日可決分

▼条例の制定《関市一般会計予算（第5号）》▼平成24年度特別会計補正予算《国民健康保険（第3号）・下水道（第3号）。

介護保険事業（第3号）・後期高齢者医療（第3号）》

サービス事業者の指定に関する基準等を定める条例、関市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基

準を定める条例、関市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例、関

市新型インフルエンザ等対策本部条例、関市水道事業給水条例》▼条例の一部改

正《関市職員の給与に関する条例、関市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例及び関市消防団員等公務災害補償条例、関市税条例、関市

デイ・サービスセンター設置及び管理条例に関する条例、関市国民健康保険税条例、関市廃棄物の処理及び清掃に関する条例、

関市農業集落排水処理施設の設置及び管理条例に関する条例、関市企業立地促進条例、関市道路占用料徴収条例、関市簡易水道事業給水条例、関市下水道条例》▼公の施設の指定管理者の指定について《道の駅ラステンほらど、道の駅むげ川、道の駅平成、富野ふれあいセンター、武儀生

涯学習センター、上之保生涯学習センタ

の変更に関する協議について▼財産の無償譲渡について（関市南部公民センター）

▼損害賠償の額を定める件について

◎3月22日否決分

▼関市職員の退職手当に関する条例等の一部改正について

○3月22日否決分

◆関市議会では、議会改革の一環として、会議のペーパーレス化や一元化を図るため、タブレット型端末「iPad」を試験的に導入しました。会議での資料や情報検索のほか、メール機能やスケジュール管理機能などを活用していきます。今後も議会での検証を重ね、効率よい議会運営を目指します。

ペーパーレスの取り組み

◆関市議会では、議会改革の一環として、会議のペーパーレス化や一元化を図るため、タブレット型端末「iPad」を試験的に導入しました。会議での資料や情報検索のほか、メール機能やスケジュール管理機能などを活用していきます。今後も議会での検証を重ね、効率よい議会運営を目指します。

■照会先 議会事務局 23-19068

※次回の定例会は、6月3日（月）に開会する予定です。

▼平成25年度関市一般会計予算▼平成25年度特別会計予算《国民健康保険・下水道・財産区・中小企業従業員退職金共済事業・食肉センター事業・農業集落排水事業・公設地方卸売市場事業・介護保険事業・簡易水道事業・有線放送事業・後期高齢者医療》▼平成25年度上水道事業会計予算▼関市議会委員会条例の一部改正について

5月は「消費者月間」です

学ぶことからはじめよう
～自立した消費者に向けて～

◆ 照会先
商工課 ☎ 23-6752

近年、悪質商法などによる消費者トラブルが多様化・巧妙化し、特に高齢者が被害に遭うケースが増えています。また、最近では芸能人などになりすましてメールをする「サクラサイト商法」や、貴金属の訪問買い取りに伴うトラブルなど新たなケースも発生しています。

こうした被害を未然に防ぐために、一人ひとりが自立した消費者となることや地域で見守り合うことの重要性が高まっています。岐阜県や消費者団体では、自治会や老人クラブなどに無料で講師を派遣する出前講座を実施していますので、学ぶことから始めるための第一歩としてご利用ください。

また、「関市消費生活相談室」では専門の相談員が消費生活に関する相談を受け付けています。クリーニングオフの方法が分からず、身に覚えのない商品が届いた、多重債務(借金)で悩んでいるなど困った時、悩んだ時は気軽にご相談ください。

消費生活に関する 出前講座は

県民生活相談センター企画係 ☎ 058-272-8204
岐阜県金融広報委員会 ☎ 058-213-9257
消費者ネットワーク岐阜 ☎ 058-370-6867

※講座の内容など詳しくは各機関にお問い合わせください。

消費生活に関する 相談は

関市消費生活相談室(北庁舎2階商工課内)
月・火・木・金 9:00~16:00 ☎ 23-6752
(来庁される場合はできるだけ事前にお電話ください)

県民生活相談センター(ふれあい福寿会館)
月~金 8:30~17:00 ☎ 058-277-1003

今よりもっと元気に!
こっこつ貯筋体操で

いきいき教室

いつまでも若々しく元気でいるために、簡単な体操をしたり、食事・お口の健康の話を聞いたりする教室です。また、体力測定で自分の体力を知ることができます。同じ地域の仲間と一緒に、いきいき生活のコツを学びましょう。

場所	日にち	
	1回目	2回目
富野ふれあいセンター	5月16日(木)	5月23日(木)
安桜ふれあいセンター	5月17日(金)	5月24日(金)
西部地区公民館	5月20日(月)	5月27日(月)
桜ヶ丘ふれあいセンター	5月22日(水)	5月29日(水)
倉知ふれあいセンター	5月28日(火)	6月4日(火)
瀬戸公民センター	6月3日(月)	6月10日(月)
田原ふれあいセンター	6月5日(水)	6月12日(水)
四季ノ台公民センター	6月6日(木)	6月13日(木)
旭ヶ丘ふれあいセンター	6月11日(火)	6月18日(火)
わかくさ・プラザ「総合福祉社会館2階・リハビリ室」	6月20日(木)	6月27日(木)

※在住地区以外、2回のうち1回の参加もできます。

- ◆ 持ち物 運動ができる服装、汗ふきタオル、水分補給用の飲み物
- ◆ 対象 ※当日、血圧が高い方や体調が悪い方は、体力測定・体操の参加を見合わせていただく場合があります。
- ◆ 定員 各会場30人(申し込み順)
- ◆ 時間 いずれも午前10時~11時30分
- ◆ 内容 ▽1回目=体調チェック、体力測定、貯筋体操
- ◆ 時間 ▽2回目=体力測定の結果説明、運動・食事・お口の話、貯筋体操
- ◆ 予約が必要

（☎ 24-0111）

申込先 各第1回目開催日の前日までに関市保健センター

市長からの たより

vol.2

市役所のサービス向上

昨年末に、市役所1階を変えました。どこにどの課があるか分かりづらい、という指摘をいただいていたので、色分けをした案内表示板を設置しました。視覚に訴える看板なので、来庁された方にも分かりやすくなつたと思います。

また、3月からは市民課に銀行窓口と同じような受付番号発券機と番号表示大型モニターを導入しました。待ち順がモニターに表示されるので、待ち時間の目安が分かるようになります。市役所サービス向上策の一環です。

しかし、市役所サービスの根本は、市役所職員の挨拶を含めた接遇です。

職員には「まずは挨拶」「誠心誠意の接遇」をお願いしています。「職員の対応が変わったよ」と嬉しい言葉をいたたくこともありますが、一方で「窓口での態度が失礼だった」、「電話での言葉遣い



受付番号発券機、表示大型モニター導入

が不愉快だった」というお叱りの声を、まだまだいたでいるのが現状です。民間の現場でないと、サービス意識など感じられないものがあるはず、と考え、今後もこの研修は続けます。

いわゆる「お役所仕事」や「縦割り意識」を感じる場合もありますが、ただし、多くの職員は事務処理能力も高く、真摯に職務に取り組んでくれています。公に尽くす仕事として自覚と誇りを持たせることが、市長である私の仕事だと思います。これからも職員の意識改革と接遇向上へ取り組んでいきます。

あんなこと、 こんなこと

聞市イメージキャラクター
「聞*はもみん」

3月16日～4月15日にあった
市内の話題を中心にご紹介します。



4年生が獅子舞神楽を披露

富之保岩山崎地区の水無神社で4月14日、春の例大祭が開催され、地域住民でつくる「栗野神楽保存会」が継承する獅子舞神楽が奉納されました。今年初めて、地元の武儀東小学校4年の土屋潤哉君が獅子舞の舞い手として初舞台を踏み、演技を披露しました。会員のメンバーの大人から連日の指導を受け、その成果を發揮。見守る観客から大きな拍手が送られました。伝統芸能の9歳の後継者が誕生しました。



電子書籍端末「kobo」寄贈

「読書教育の充実」を掲げる関市に賛同していただいた楽天株式会社より、電子書籍端末「kobo touch」(コボタッチ)1,250台の寄贈を受けました。3月25日、市役所において寄贈式が行われ、うち1,150台が配備される関商工高校の生徒代表らが端末を受け取りました。同校では朝の10分間読書に活用するほか、100台は一般貸し出し用として市立図書館に配備されます。

病児・病後児保育室オープン

小さなお子さんがいるお父さん、お母さんの期待に応え「はもみん」が誕生しました。かねてから要望の大きかった、病気中の子どもも一時的に預けることができる病児・病後児保育室「はもみん」が、中濃厚生病院内に4月2日、開設されました。お預かりできる子どもの状態や、利用にあたっては事前登録が必要となるなど諸条件はありますが、働く親世代にとって心強い味方になってくれることでしょう。



地域ぐるみで交通安全運動

春の全国交通安全運動にあわせ4月8日、関市文化会館駐車場では、車を運転するドライバーに対し、交通安全に対する意識を高めてもらおうと、交通関所が設けられて街頭指導が行われました。岐阜県は、全国的にみて交通事故による死者数が最も増加しています。春の慌ただしい季節、新入学の子どもたちや高齢者を交通事故から守りましょう。

新入社員の活躍を期待します

今春、市内の事業所に就職する新入社員を激励する大会が4月4日、わかくさ・プラザで開催されました。将来の関市を担う若者たちへの励ましや社会人となる心構えについてあいさつを受け、新入社員の代表が力強い抱負とともにお礼のことばを述べました。大会に引き続き、記念講演やビジネスマナーなどを学ぶセミナーが開かれ、新入社員たちの真剣なまなざしでメモをとる姿が印象的でした。



6次産業化ネットワーク構築へ

農産物の生産（1次）、加工（2次）、販売（3次）までを生産者が一体的に行う（ $1 \times 2 \times 3 = 6$ 次）ことで効率化を図り、消費者へ安心・安全な品物を届けることができる「6次産業」が注目を集めています。3月19日、6次産業に取り組む市内の農産物生産・加工組織が連携し、その可能性を探るための第1回「関市6次産業化ネットワーク会議」が市役所で開催されました。